

水稻有機栽培の現地事例に基づく所得の試算

福島県農業総合センター 企画経営部 経営・農作業科

1 部門名

農業経営－農業経営－所得

2 担当者名

宮川貴光

3 要旨

水稻有機栽培の取組や規模拡大が期待されているが、県内における経営指標が作られていない。そこで、県内の複数の経営体に栽培概況と流通形態を聴き取り、結果を基に経済性を試算した。

- (1) 水稻有機栽培の集出荷業者出荷時の利益を試算した結果、22,327 円/10a であった(表1)。
- (2) 家族経営・雇用なし・機械水田除草・集出荷業者出荷を前提条件とし、調査した経営体の水稻有機栽培面積の平均 3.2ha の経営モデルを作成した(表2)。

表1 水稻有機栽培の粗収益と費用の試算

	有機栽培	(参考) 特別栽培
粗収益		
売上高 (円/10a)	120,450	119,133
(単価: 円/kg)	(365)	(217)
(収量: kg/10a)	(330)	(549)
雑収入 (円/10a)	12,000	
費用		
物財費 (円/10a)	74,263	78,219
労働費 (円/10a)	35,860	26,400
(労働時間: h/10a)	(32.6)	(24.0)
利益 (円/10a)	22,327	14,514

※有機栽培の単価・収量は生産者4戸・集出荷業者2戸及び関係機関への聴取調査の結果の一部を使用。
 ※特別栽培の収量は農林水産関係市町村別統計(R4)より。
 ※雑収入は環境保全型農業直接支払交付金を計上。
 ※有機栽培・特別栽培の認証費用は計上していない。
 ※労働時間は水稻有機栽培の手引き(農研機構, 2020)を参照し、労働費は労働時間×時給1,100円で算出。

表2 水稻有機栽培の経営モデル

	有機栽培	(参考) 特別栽培
栽培面積 (ha)	3.2	3.2
水田除草	乗用型除草機	除草剤
粗収益 (千円)	4,238	3,812
物財費 (千円)	2,198	2,335
労働費 (千円)	1,148	845
利益 (千円)	892	632

※1 当該面積以外にも別途水稻作付あり(10.8ha)。
 ※2 有機栽培・特裁ともに市販肥料使用、農業機械使用(田植機・コンバイン・トラクタ等)、畦畔は機械除草(モア・刈払機)、出荷先は集出荷業者。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 環境にやさしい農業拡大推進事業

5 主な参考文献・資料

- (1) 高能率水田用除草機を活用した水稻有機栽培の手引き(国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構, 2020)